

使用前に必ず本使用説明書を読み、記載事項を守って使用してください。

動物用医薬品

2019年5月改訂

承認指令書番号	19動薬第3711号
販売開始	昭和61年7月

貯法	2～5℃
----	------

動物用体外診断用医薬品

鶏のロイコチトゾーン症寒天ゲル内沈降反应用抗原

本質の説明又は製造方法

この抗原は、ロイコチトゾーン感染鶏より得た血漿に、チメロサルを添加し凍結乾燥したものです。

成分及び分量

乾燥抗原	1バイアル（1mL分）中
主 剤	ロイコチトゾーン・カウレリー越谷株シゾント由来の 抗原（抗原価2単位以上）……………1.0mL
保存剤	チメロサル……………0.1mg
乾燥指示陽性血清	1バイアル（0.5mL分）中
	ロイコチトゾーン症感染鶏血清（抗体価6～8単位）…0.5mL
溶解用液	1バイアル（2mL）中
	精製水……………2.0mL

使用目的

ロイコチトゾーン原虫に対する沈降抗体の検出

使用方法

抗原は溶解用液1.0mLで溶解し、指示陽性血清は溶解用液0.5mLで溶解する。本抗原を沈降反应用寒天ゲル（付記）の中央穴に入れ、周囲穴には被検血清を入れる。指示陽性血清は沈降反应用寒天ゲル平板1枚につき1カ所設置する。これを湿度の高い容器に収め15～30℃で1～3日間観察を続け、沈降線の有無を判定する。陽性血清には、通常1～3本の沈降線が出現する。

付 記

●沈降反应用寒天ゲル平板は、次の組成のものを使用する。													
1,000mL中	<table> <tr> <td>Na₂HPO₄・12H₂O……………</td> <td>5.2g</td> </tr> <tr> <td>NaH₂PO₄・2H₂O……………</td> <td>0.9g</td> </tr> <tr> <td>NaCl……………</td> <td>87.5g</td> </tr> <tr> <td>NaN₃……………</td> <td>0.5g</td> </tr> <tr> <td>精製寒天末……………</td> <td>10.0g</td> </tr> <tr> <td>精製水……………</td> <td>残量</td> </tr> </table>	Na ₂ HPO ₄ ・12H ₂ O……………	5.2g	NaH ₂ PO ₄ ・2H ₂ O……………	0.9g	NaCl……………	87.5g	NaN ₃ ……………	0.5g	精製寒天末……………	10.0g	精製水……………	残量
Na ₂ HPO ₄ ・12H ₂ O……………	5.2g												
NaH ₂ PO ₄ ・2H ₂ O……………	0.9g												
NaCl……………	87.5g												
NaN ₃ ……………	0.5g												
精製寒天末……………	10.0g												
精製水……………	残量												
●作り方													
精製水約600mLに上記試薬を順次加えて溶解し、最後に精製寒天末を加え、精製水で全量を700mLとする。これを加温溶解用容器に移す。元の容器に残った残渣を、300mLの精製水ですすぎ、全量を加温溶解用容器に入れる。湯せんにかけ寒天を加熱溶解後、水平な台に並べたスライドグラス（26mm×76mm）に、1枚につき4mLずつ注ぎ凝固させる。凝固した寒天ゲルに下図のごとく直径5mm、間隔3mmの穴を中央に1個、その周囲に6個あける。													
	<table> <tr> <td>A……………</td> <td>抗 原</td> </tr> <tr> <td>B……………</td> <td>指示陽性血清</td> </tr> <tr> <td>C……………</td> <td>被検血清</td> </tr> </table>	A……………	抗 原	B……………	指示陽性血清	C……………	被検血清						
A……………	抗 原												
B……………	指示陽性血清												
C……………	被検血清												

使用上の注意

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は、寒天ゲル内沈降反応による鶏のロイコチトゾーン症原虫に対する抗体の検出に用います。この目的以外には使用しないこと。
- ・本剤は、本使用説明書の〔使用方法〕に従って使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・直射日光又は加温は品質に影響を与えるので、避けること。
- ・保存剤として水銀製剤であるチメロサールが含まれていますので、使い残りの抗原及び廃液は、専門業者に委託する等、適切に処分すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
- ・溶解用液容器の破損を防ぐため、また、乾燥抗原及び乾燥指示陽性血清瓶内は真空になっており、破裂するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。

(取扱いに関する注意)

- ・本剤は同一製造番号の試薬を用いた場合に、正確な結果が得られるよう調整されているので、使用に先立って必ず各構成品の製造番号を確認すること。また、他の製造番号の診断試薬と組み合わせて使用しないこと。
- ・抗原及び被検血清は、ほぼ同じ量を使用すること。穴に注入する際、寒天上面すれすれに液を入れ、穴の壁による光の反射が消えるのを目安にし、寒天上面にあふれないようにすること。
- ・溶解後は速やかに使用すること。
- ・抗原及び指示陽性血清は、よく振盪し、均質な状態にしてから使用すること。

有効期間

2年間（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）

包 装

1 mL分（凍結乾燥品）

〔溶解用液 2 mL及び指示陽性血清0.5 mL分（凍結乾燥品）添付〕

製品情報お問い合わせ先

株式会社 科学飼料研究所 動薬部
〒370-1202 群馬県高崎市宮原町3-3
TEL 027-347-3223
FAX 027-347-4577

製造販売元



株式会社 科学飼料研究所
東京都中央区八丁堀三丁目3番5号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記〔製品情報お問い合わせ先〕に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。